

會報

ALUMNI BULLETIN OF AZABU UNIVERSITY

発行日：2024年10月1日
発行者：一般社団法人麻布大学同窓会
発行責任者：福山 守
〒252-5201
神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71
TEL：042-769-2183
FAX：042-759-0337
Email：doso@azabu-u.ac.jp
HP：https://azabu-doso.com/



CONTENTS

【新学科誕生】 獣医学部に獣医保健看護学科を開設 …… 獣医保健看護学科長 島津徳人 ……	2
麻布大学学部・大学院在籍学生数、卒業者数・学位授与者数、国家試験結果 ……	3
同窓会新役員の紹介 会長就任のあいさつ・役員紹介 ……	4
令和6年度 定時代議員会（議事抜粋） ……	6
令和5年度 同窓会年会費納入について／訃報 ……	11
おめでとうございます！ …… 叙勲・鈕崎克己先生 受賞・田中秀和先生 ……	12
支部総会開催報告 ……	12

麻布大学同窓会トピックスは、「学園情報」の12～13頁に掲載しております。



大学は、令和6年4月に新しい学科として獣医学部に獣医保健看護学科（定員70名）を開設しました。新しい学科が誕生したのは、1999年に環境保健学部（現在の生命・環境科学部）に環境政策学科が設置されて以来、25年ぶりのこととなります。獣医保健看護学科が新設された経緯としましては、令和4年5月1日に愛玩動物看護師法が全面施行されたことにより、「愛玩動物看護師」が国家資格化されたことが背景にあります。全国で最長の130年以上におよぶ獣医学教育のノウハウを生かした愛玩動物看護師の養成は、本学の発展のみならず質の高い獣医師の養成やペット産業の永続的な発展にも繋がります。そして、新学科のテーマとなるのが、

“獣医学科とともに”です。麻布大学が誇る最先端の施設・設備と充実した教育体制のなかで学ぶことで、チーム獣医療を体得することができます。例えば、獣医学科で行われている保護動物の避妊去勢手術の実習にあわせて、獣医保健看護学科の学生が動物の入院管理を担当するなど、同じ環境で実習を行うことを計画しています。この取り組みは獣医保健看護学科の学生のみならず、獣医学科の学生にとってもチーム獣医療を学ぶ良い機会にもなります。

4月6日に举行された入学式は、第1期生78名を迎える記念すべき特別な式典となりました。継続する18歳人口の減少のなか、どれだけの志願者を確保できるかが大きな課題でしたが、実際

には予想を大きく上回る800名以上の志願を得ることができました。志願倍率も総合型選抜入試で約3.6倍、学校推薦型選抜入試（公募制）で約2.2倍、一般入試で約10倍となりました。特に一般入試は開設初年度ということもあり、河合塾の偏差値で“50”がつかしました。この数値は、愛玩動物看護師の養成大学のなかでトップになっています。また、入試制度につきましては、「卒業生子女等特別入学試験」も導入しています。

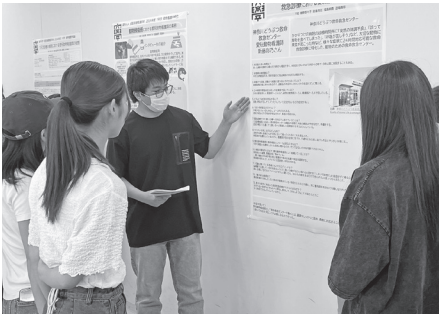
第1期生はコミュニケーション力が多くて元気な学生が多く、今後の成長が期待できます。4年次には国家試験合格という大きな共通目標があります。1年次から学生同士で助け合える力やコミュニケーション能力を養



令和6年度4月6日（土）入学式



獣医保健看護学科
「動物看護学概論」ポスター発表会での表彰の様子



うことを目指して、授業内でのグループワークにも注力しています。4年後に卒業する学生達の多くは、愛玩動物看護師として動物病院に就職することが予

想されます。臨床獣医師数が国内No.1を誇る麻布大学の獣医学科卒業生ネットワークや、包括協定を締結している公益社団法人日本動物病院協会との密接

な関係を活用することで、卒業後の活躍の場を提供できるよう学生を支援していきますので、卒業生の皆さまにも後押ししていただければ幸いです。



島津 徳人 (しまづ よしひと) 教授

獣医学部 獣医保健看護学科 獣医基礎看護学研究室

平成9年麻布大学獣医学部環境畜産学科卒業後、日本歯科大学にて口腔疾患に関する研究をされ、平成26年食品生命科学科に着任、令和6年から獣医学部に移籍し、口腔細菌感染症である歯周病に注目して、ヒトと動物の共生科学に係わるユニークな研究に取り組んでおられます。

2024年度 麻布大学 学部・大学院在籍学生数

(令和6年5月1日現在) (人)

学部	学科	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計
獣医学部	獣医学科	147	163	154	135	156	132	887
	獣医保健看護学科	78						78
	動物応用科学科	153	164	135	121			573
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	91	127	101	75			394
	食品生命科学科	50	59	42	59			210
	環境科学科	83	80	67	51			281
計(学部)		602	593	499	441	156	132	2,423
大学院 獣医学研究科	獣医学専攻博士課程	3	6	12	5			26
	動物応用科学専攻博士前期課程	33	30					63
	動物応用科学専攻博士後期課程	—	3	1				4
大学院 環境保健学研究科	環境保健科学専攻博士前期課程	7	9					16
	環境保健科学専攻博士後期課程	—	1	2				3
	計(大学院)	43	49	15	5			112

(出典：麻布大学要覧2024)

2023年度 麻布大学 卒業者数・学位授与者数

(人)

学部	学科	合計
獣医学部	獣医学科	143
	動物応用科学科	122
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	79
	食品生命科学科	51
	環境科学科	64
計(学部)		459
大学院 獣医学研究科	獣医学専攻博士課程	5
	動物応用科学専攻博士前期課程	26
	動物応用科学専攻博士後期課程	1
大学院 環境保健学研究科	環境保健科学専攻博士前期課程	9
	環境保健科学専攻博士後期課程	0
計(大学院)		41

(出典：麻布大学要覧2024)

国家試験結果

第75回獣医師

令和5年2月14、15日実施

区分	受験者数 (新卒者)	合格者数 (新卒者)	合格率
全国	1,029	868	84.4%
本学	129	107	82.9%

(出典：農林水産省ホームページより)

第70回臨床検査技師

令和5年2月14日実施

区分	受験者数 (新卒者)	合格者数 (新卒者)	合格率
全国	4,051	3,565	88.0%
本学	64	57	89.1%

(出典：厚生労働省ホームページ及び麻布大学要覧2024)



同窓会新役員の紹介 (任期：令和8年度定時代議員会終結のときまで)

麻布大学同窓会 会長就任の挨拶

麻布大学同窓会会長 福山 守

会長に就任いたしました昭和52年、麻布獣医科大学卒業の福山守です。

同窓会の一般社団法人化により、定時代議員会で選任されました理事、監事による理事会で、理事の中から会長、3名の副会長を選定していただきました。副会長のうち2名は、女性で、これは同窓会史上初めてのことで、大変画期的なこととなりました。これを機に女性正会員の入会、女性役職者の登用など男女共同参画が推進されることを大いに期待しております。

学園から、次期卒業生理事・評議員の推薦依頼があり、同窓会はこれを受け、理事に3名、評議員に9名を推薦し、6月1日に学園の理事、評議員に就任していただきました。

大学は、動物医療センターの増改築が竣工しました。全学科定員を満たし、新設の獣医保健看護学科には多くの志願者がありました。18歳人口の減少など厳しい状況ですが、同窓会として、バックアップを続けていきます。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行で、支部総会などがコロナ禍前に戻ってきました。私も各地の支部総会などにお邪魔させていただき、久々に会員の方々の生の声を聴かせていただきました。

近年は、若い方の正会員が増えず、正会員数の減少に歯止めがかからないなど課題を抱えておりますが、皆さまのお力をお借りしまして、同窓会の発展に尽くしていきたいと思っております。引き続きの会長になりますが、ご指導、ご協力をお願いいたします。


役員紹介

2行目：学部・学科・卒業年


3行目：現職

4行目：学生時代の所属研究室・部活など


	<p>福山 守 会長</p> <p>獣医学部 獣医学科 S52年卒業 元衆議院議員 応援団</p>		<p>大島 義之 理事</p> <p>獣医学部 動物応用科学科 H10年卒業 (一財)日本生物科学研究所 栄養学 ・ テニス同好会 (現テニス部)</p>
	<p>青木 ふき乃 副会長</p> <p>獣医学部 獣医学科 S61年卒業 (公社)千葉県獣医師会事務局 公衆衛生学第二 ・ オペ研</p>		<p>高井 俊生 理事</p> <p>獣医学部 動物応用科学科 H16年卒業 フィード ・ ワン(株) 動物行動管理学 ・ 剣道部</p>
	<p>伊藤 悦子 副会長</p> <p>獣医学部 環境畜産学科 S61年卒業 ライター ・ NPO法人NEWSつくば 記者 実験動物学 ・ 麻布徒歩旅行会</p>		<p>望月 雅裕 理事</p> <p>環境保健学部 環境保健学科 S60年卒業 (株)安評センター 食品衛生学 ・ ボクシング部</p>
	<p>奥田 雄二 副会長</p> <p>環境保健学部 環境保健学科 S57年卒業 新潟スキー協会会長 食品衛生学 ・ スキー愛好会</p>		<p>石崎 直人 理事 (会計担当)</p> <p>環境保健学部 衛生技術学科 H2年卒業 麻布大学 生命 ・ 環境科学部 准教授 微生物学 ・ 農村文化研究会</p>
	<p>岡本 浩介 理事</p> <p>獣医学部 獣医学科 S60年卒業 岡本動物病院 院長 麻布大学父母会会長 臨床繁殖学 ・ 二輪愛好会</p>		<p>石黒 聖三 理事</p> <p>環境保健学部 環境保健学科 H6年卒業 石黒建設(株) 代表取締役 分析化学 ・ バスケットボール同好会</p>
	<p>中畑 嗣也 理事 (事業担当)/交流委員</p> <p>獣医学部 獣医学科 H9年卒業 なかはた動物病院 院長 (公社)横浜市獣医師会常務理事 公衆衛生学第一 ・ 準硬式野球部/野鳥研究部</p>		<p>海老澤 隆宏 理事</p> <p>環境保健学部 環境保健学科 H5年卒業 いであ(株) 食品衛生学</p>




志波 洋輔 理事
 獣医学部 獣医学科 S60年卒業
 しば動物病院院長
 陸上競技部




鈴木 憲太 理事
 獣医学部 獣医学科 S54年卒業
 鈴木憲太動物病院 院長
 外科学 ・ バスケットボール同好会




柿崎 正博 理事
 獣医学部 獣医学科 S51年卒業
 元秋田県職員
 解剖学




杉山 和寿 理事
 獣医学部 獣医学科 S57年卒業
 杉山獣医科 院長 (公社) 静岡県獣医師会会長理事
 分子生物学 ・ 吹奏楽部




鮎田 安司 理事
 獣医学部 獣医学科 S49年卒業
 元 (公社) 栃木県獣医師会常務理事兼事務局局長
 外科学




渡邊 大直 理事
 獣医学部 獣医学科 S54年卒業
 但馬牛飼育 (元但馬牛博物館長)
 外科学 ・ 応援團/相撲部




平沢 久史 理事
 獣医学部 獣医学科 S50年卒業
 (一社) 長野県獣医師会 理事
 解剖学 ・ バスケットボール同好会




木村 俊也 理事
 獣医学部 獣医学科 H2年卒業
 愛媛県保健福祉部薬務衛生課
 衛生学第一 ・ 準硬式野球部




山尾 信吾 理事
 獣医学部 獣医学科 S56年卒業
 山尾獣医科病院 院長
 テニス同好会 (現テニス部)




上田 毅 理事
 獣医学部 獣医学科 S51年卒業
 全国公営競馬獣医師協会会長
 応援團




若田 茂 理事
 獣医学部 獣医学科 S53年卒業
 (一社) 家畜改良事業岡山種雄牛センター
 外科学 ・ ボクシング部




恩田 賢 理事 (事業担当)/交流委員
 獣医学部 獣医学科 H4年卒業
 麻布大学 獣医学部 教授
 栄養学




岡本 豊 理事
 獣医学部 獣医学科 S47年卒業
 岡本動物病院 院長
 馬術部




田原口 智士 理事 (会計担当)
 獣医学部 獣医学科 H4年卒業
 麻布大学 獣医学部 教授
 微生物学第一 ・ ラグビー部




中村 浩 理事
 獣医学部 獣医学科 S55年卒業
 中央犬猫医院 院長 (公社) 佐賀県獣医師会副会長
 応援團/相撲部/剣道部




市原 伸恒 理事 (事業担当)/広報委員
 獣医学部 獣医学科 H5年卒業
 麻布大学 獣医学部 准教授
 解剖学第一




大仲 賢二 理事 (総務担当)
 獣医学部 獣医学科 H5年卒業
 麻布大学 獣医学部 准教授
 生化学 ・ ダイビングサークル




渋谷 光彦 監事
 獣医学部 獣医学科 S56年卒業
 (公社) 神奈川県獣医師会参事
 ラグビー部



島田 純 理事
 獣医学部 獣医学科 H4年卒業
 千葉県畜産総合研究センター センター長
 寄生虫学 ・ ラグビー部



折戸 謙介 監事
 獣医学部 獣医学科 H2年卒業
 麻布大学 獣医学部 教授
 生理学第二 ・ 軽音楽研究会



宮手 浩 理事 (総務担当)
 獣医学部 獣医学科 S51年卒業
 (一社) 麻布大学同窓会事務局長
 馬術部

役員名簿、各都道府県支部役員名簿は
 ホームページからもご覧になれます。
<https://azabu-doso.com/roster/>



令和6年度 定時代議員会（議事抜粋）

令和5年度事業報告

総括

令和5年2月22日付けで一般社団法人の設立登記が成立し、任意団体から一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（法人法）に基づく団体として新たなスタートをきった。

麻布獣医学園から本会に対して、同学園の次期卒業生理事・評議員の推薦依頼があり、本会はこの受諾し、理事に3名及び評議員に9名を推薦した。（経過は別掲）

しかしながら、この推薦に伴う事務量は、相当量で、一般社団法人化に伴う内部体制や内部規程等の整備に遅れが生じてしまった。

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月から5類感染症に移行し、支部活動などがコロナ禍以前の状況に戻り、活発に行われるようになった。

神奈川県から貸金業に該当すると指摘を受けた麻布大学同窓会奨学金は、麻布獣医学園に移管した。

1 会議 原則、オンラインで開催した。

(1) 定時代議員会

- ア 日時 令和5年6月10日(土)13時30分～16時15分
- イ 場所 麻布大学本館第1会議（対面出席者）
- ウ 出席代議員 59名 オンライン 38名
対面 12名 委任状 1名
書面議決 8名 欠席代議員 10名
- エ 議長 高橋岩雄、大仲賢二
- オ 議事録署名人 高橋岩雄、大仲賢二、笹子良紀、櫻井三樹子
- カ 議事

(ア) 報告事項

- a 令和5年度事業計画及び令和5年度収支予算の件
- b 令和4年度事業報告の件

(イ) 第1号議案 令和4年度収支決算承認の件

令和4年度監査報告

(ウ) 第2号議案 監事選任承認の件

(エ) 第3号議案 学園理事・評議員の推薦承認の件

(2) 臨時代議員会（書面議決）

- ア 議事 会長の選定に関する規程制定の件
- イ 議決 令和6年3月29日

(3) 第1回理事会

- ア 日時 令和5年5月27日(土)13時30分～15時45分
- イ 場所 麻布大学本館第1会議（対面出席者）
- ウ 出席理事 29名 オンライン 25名
対面 4名 欠席理事 9名 出席監事 2名
- エ 議事

(ア) 第1号議案 令和5年度事業計画及び令和5年度収支予算承認の件

(イ) 第2号議案 令和4年度事業報告承認の件

(ウ) 第3号議案 令和4年度収支決算承認の件

(エ) 第4号議案 令和5年度定時代議員会提出議案承認の件

(オ) 第5号議案 令和5年度定時代議員会に出席しない代議員による書面議決権行使承認の件

(カ) 第6号議案 学園理事・評議員の推薦承認の件

(キ) 第7号議案 事務局長選任承認の件

(ク) 第8号議案 職員の基本給額承認の件

(4) 第2回理事会（書面議決）

ア 議事

(ア) 第1号議案 会長の選定に関する規程制定の件

(イ) 第2号議案 臨時代議員会開催の件

(ウ) 第3号議案 臨時代議員会提出議案の件

イ 決議 令和6年3月14日

(5) 第3回理事会

- ア 日時 令和6年3月23日(土)13時30分～15時50分
- イ 場所 麻布大学本館第1会議（対面出席者）
- ウ 出席理事 28名 オンライン 23名
対面 5名 欠席理事 10名 出席監事 2名
- エ 議事

(ア) 第1号議案 令和6年度事業計画承認の件

- (イ) 第2号議案 令和6年度収支予算書承認の件
- (ウ) 第3号議案 令和6年度定時代議員会招集の件
- (エ) 第4号議案 生命・環境科学部会規約一部改正の件

(6) 担当理事会

ア 会員表彰規程に基づき推薦のあった会員の表彰について審議し、承認した。

イ 職員の昇給について審議した。

(7) 委員会等

ア 交流委員会

大学祭について、メール等で調整し、事前準備、当日活動、撤収等を行った。

イ 広報委員会

(ア) 会報及び学園情報の原稿について、メール等で校正等を行った。

(イ) 広報ツールとしてのLINEの導入を検討した。

2 麻布獣医学園次期卒業生理事・評議員の推薦

年月日	事項
令和5年3月17日	麻布獣医学園から本会に同学園の次期卒業生理事・評議員の推薦依頼
3月25日	第2回理事会 検討委員会設置決定
4月16日	検討委員会 (1) 依頼の受諾 (2) 地域ブロック及び部会から選出等を決定
5月27日	第1回理事会 (1) 依頼の受諾 (2) 選出方法等 (8地域ブロック各1名、3部会各1名及び会長指名1名計12名) (3) 定時代議員会への上程を承認
6月10日	定時代議員会 (1) 依頼の受諾 (2) 選出方法等を承認
6月15日	本会から学園に受諾する旨回答
7月6日	会長から支部長及び部会代表者あてに受諾した旨及び選出方法等について通知
7月20日	理事・評議員推薦ガイドライン（地域ブロック）、同（部会）作成
8月19日	部会長、部会選出理事会議
8月30日	卒業生に対し、選出方法変更のお知らせはがき送付
	以降、各地域ブロック及び各部会で推薦候補者選出作業
9月29日	会長から地域ブロック担当支部長及び部会代表者あてに推薦候補者報告の依頼
12月	地域ブロック、部会及び会長指名の候補者決定（12名）
令和6年1月20日	推薦者決定会議 本会候補者12名及び高校同窓会候補者1名により、理事推薦者（3名）・評議員推薦者（10名）を決定
1月23日	学園に次期卒業生理事・評議員推薦者を報告

3 奨学金制度の学園への移管

麻布獣医学園に移管することとした麻布大学同窓会奨学金は、同学園の顧問弁護士と相談の上、令和5年12月19日付けで「債権譲渡契約書」を同学園と締結し、移管が完了した。

また、代議員会で承認された奨学金運営資金の寄付（10,000,000円）は、令和6年2月2日付けで履行した。

4 正会員（旧維持会員）への勧誘促進

(1) 支部及び地区ブロック

非正会員に支部総会などへの出席を呼び掛け、正会員への勧誘を行った。

(2) 部会行事参加者に正会員への勧誘を行った。

ア 獣医部会

第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和5年度）

- での交流会
- イ 動物応用部会
 - ウ 生命・環境科学部会
 - 就職業界研究会
- (3) 卒業後初年、3年及び5年の一般会員に会報及び学園情報を提供し、勧誘した。
- (4) 卒業式で卒業生に記念品及び加入促進案内（住所確認調査）を配付し、正会員への勧誘を行った。
- (5) 令和3年卒業生を大学祭に招待し、交流会を開催し、勧誘した。
- 5 支部及び地区ブロック活動への支援
- (1) 支部及び地区ブロックが開催する事業経費の一部を補助した。
 - (2) 支部総会及び地区ブロック会議に派遣した大学教職員等の経費を全額負担した。
- 6 広報活動
- (1) 会報
- ア 会報は10月及び3月に作成し、正会員（旧：維持会員）、一般会員（旧：正会員）（卒業後初年、3年及び5年）及び準会員（学生）の父母に配付した。
配布部数：15,780部（内訳：10月号 7,588部、3月号 8,192部）
 - イ 学園情報は印刷し、正会員（旧：維持会員）及び一般会員（旧：正会員）（卒業後初年、3年及び5年）に配付した。
配付部数：9,816部（内訳：10月号 4,856部、3月号 4,960部）
- (2) ホームページ
- 活動を会員に広く周知するために、随時更新した
令和5年度アクセス数：6,039件
お知らせ：14回更新
- 7 大学祭への参加
- 令和5年10月28日(土)・29日(日)に開催された大学祭に交流委員会を中心として、参加した。
- 来場者 約7,600人（昨年度 約3,500人）
- (1) 落花生の販売（千葉県支部）
1日目に完売した。
 - (2) 動物相談コーナー
56件の相談が寄せられた。
 - (3) 講演会
「東日本大震災からの変遷と復興」
講師：福島県双葉町町長 伊澤史郎氏（本学獣医学科卒業生）
会場 生命・環境科学棟201講義室 参加者 62名
 - (4) 令和3～5年卒業生との交流会
会場 テラスいちょう1F生協食堂 参加者 4名
- 8 会員個人情報の管理と利用
- (1) 学校法人麻布獣医学園との「覚書」に基き今年度も卒業生名簿を随時更新した。
 - (2) 「一般社団法人麻布大学同窓会の保有する個人情報の取扱いに関する規程」を遵守し、大学の事業、本会の事業（部会及び支部、ブロック活動）、同期会等に会員情報を提供した。
 - ア 大学の事業
 - (ア) 獣医学科卒業生後継者特別入学試験説明会及び卒業生子女等特別入学試験説明会のために1965年度以降の卒業生データを提供した。
 - (イ) 卒業生調査の為、令和4(2022)年、平成30(2018)年、平成25(2013)年及び平成20(2008)年卒業生データを提供した。
 - (ウ) 朝日新聞「大学ランキング」アンケート回答の為、2023年の卒業生数を提供した。
 - イ 部会の事業
生命・環境科学部会正会員名簿を部会理事へ提供した。
 - ウ 支部の事業
岐阜県支部、静岡県支部、大阪府支部（2）、茨城県支部、北海道支部、長野県支部（2）、新潟県支部、神奈川県支部（2）、兵庫県支部、石川県支部（2）、和歌山県支部及び福岡県支部に宛名ラベルを提供した。
 - エ ブロックの事業
四国ブロックの事務局に同ブロック内の支部長及び事務

- 局の名簿を提供した。
- オ 同期会
獣医学科昭和43年卒、同昭和45年卒、同昭和51年卒、同昭和54年卒、同平成10年卒及び動物応用科学科平成10年卒の幹事に宛名ラベルを提供した。
 - カ その他
父親の卒業年（明治41年）について情報を提供した。
- 9 部会活動
- (1) 獣医部会
令和5年12月1日(金)～3日(日)に神戸国際会議場で開催された第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和5年度）に参加する会員との親交を図るために「交流会」を開催した。（来賓：小倉弘明理事長、有賀誠副会長・宮手浩事務局長出席）
会場 神戸ポートピアホテル 参加者 60名
- (2) 動物応用部会
令和5年11月25日(土)に「卒業生と在学生の集う会」を開催した。（笠原年春副会長出席）
会場 百周年記念ホール
参加者 在学生約130名 動物応用科学科2年次130名
卒業生 動物応用部会（環境畜産学科、動物応用科学科）22名、生命・環境科学部会1名、獣医部会2名
開設ブース 15ブース
- (3) 生命・環境科学部会
令和5年11月8日(水)に「就職業界研究会」を開催した。（望月雅裕副会長出席）
会場 生命・環境科学棟
参加者 在学生140名 臨床検査学科2年次 40名
食品生命科学科3年次 20名
環境科学科3年次 40名
同学科2年次 40名
卒業生 22名
企業 25社
- 10 準会員（学生）への支援
- (1) 課外活動（自治会）及び大学祭（大学祭実行委員会）に対して補助をした。
課外活動 800,000円 大学祭 100,000円
 - (2) 学内に飲料等の自動販売機（22台）、証明写真機（1台）及び複写機（1台）を設置し、市価より安価で飲料、カップ麺、証明写真等を提供した。
 - (3) 卒業式で卒業生に記念品（名刺入れ）を贈呈した。
贈呈数：500個（名刺入れ464個、ペン36個）
- 11 福利厚生・表彰・慶弔事業
- (1) フリーデニング、レンブラントホテル東京町田及び東横イン横浜線淵野辺駅南口の福利厚生3施設について、ホームページ等で周知した。
 - (2) 会員表彰規程に基づき功績顕著であった会員を表彰した。
真弓博臣氏（横浜市支部）
柴野寛氏（群馬県支部）
 - (3) 慶弔規程に基づき弔慰金等を支給した。
 - ア 弔慰金及び弔電 2件
 - イ 弔電 5件
 - (4) 災害救助法が適用された市町村に居住する正会員の住居の罹災に対して見舞金（10,000円）等を支給した。
 - ア 適用災害 9件（延べ151市町村）
 - イ 調査依頼支部 延べ26支部
 - ウ 見舞金 12件（全て令和6年能登半島地震）
 - エ 調査活動費 102件（調査対象者）
- | 災害 | 調査依頼支部 | 対象市町村数 |
|----------------------|---|--------|
| 石川県能登地方を震源とする地震 | | 石川県 3 |
| 令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号 | 静岡県 1 埼玉県 3 茨城県 1 和歌山県 1 | |
| 令和5年6月29日からの大雨による災害 | | 山口県 2 |
| 令和5年7月7日からの大雨による災害 | 島根県 1 佐賀県 3 大分県 2 福岡県 10 富山県 4 石川県 1 秋田県 15 青森県 1 | |

令和5年台風第6号の影響による停電	沖縄県	34
令和5年台風第7号に伴う災害	京都府 3 兵庫県 1 鳥取県 3	
令和5年台風第13号に伴う災害	千葉県 9 福島県 2 茨城県 3	
令和6年能登半島地震	新潟県 14 富山県 13 石川県 17 福井県 3	
令和6年1月23日からの大雪等による災害	岐阜県 1	
9件	延べ26支部	延べ151市町村

令和6年度事業計画

基本方針

新型コロナウイルス感染症の影響により事業が縮小されてきたが、5類感染症への移行から約1年たち、それに適応した事業内容を展開していく。

正会員（旧：維持会員）数が漸減していく傾向に歯止めがからないことから、正会員の増加に努めていく。

令和5年2月22日付けで一般社団法人となり、一般社団法人としての内部体制及び内部規程等の整備を進めていく。

1 一般社団法人としての運営

専門家の指導を受け、関係法令を遵守し、適正な法人運営に努める。

- (1) 公認会計士の指導を受け、適正な会計処理を行う。
- (2) 法務局への役員の変更登記を適切に行う。
- (3) 内部体制及び内部規程の整備を図る。

2 正会員への勧誘促進

各種事業を通じて、コロナ禍等で減少した正会員数の増加に努める。

- (1) 支部及びブロックが行う勧誘促進事業を支援する。
提出された勧誘促進事業計画に基づき経費の一部を補助する。
例：一般会員に会費の納入案内を送付し、正会員に勧誘する。
- (2) 各支部が行う事業に参加した一般会員を正会員に勧誘する。
ア 獣医部会：第42回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和6年度）での交流会
イ 動物応用部会：卒業生と在学生の集う会
ウ 生命・環境科学部会：就職業界研究会
- (3) 卒業後20年及び30年の一般会員に会報及び学園情報を提供し、正会員に勧誘する。
- (4) 新たな情報発信手段として開設したLINE公式アカウントを活用し、正会員の勧誘につなげる。
- (5) 卒業生に贈呈する記念品に勧誘案内文（住所確認調査）を同梱し、正会員に勧誘する。
- (6) 大学祭で、一般会員の待ち合わせ場所を設け、交流の場として活用させるとともに、正会員に勧誘する。
- (7) 新入生に記念品及びLINEへの案内文を配布し、卒業後の正会員への勧誘につなげる。

3 支部及びブロック活動への支援

支部及びブロック活動を活発にするため、支援する。

- (1) 支部及びブロックの事業経費の一部を補助する。
- (2) 支部総会及びブロック会議に派遣する大学教職員等の経費を全額負担する。

4 広報活動

(1) 会報

本会の活動を広く伝えるため、会報を発行する。

- ア 10月及び3月に発行し、正会員、卒業後20年及び30年の一般会員並びに準会員の父母に送付する。
- イ 卒業後初年、3年及び5年の一般会員に電子版会報（ホームページ）を紹介するチラシを送付する。
- ウ 正会員及び卒業後20年及び30年の一般会員に学園情報を送付する。
- (2) ホームページ
本会の活動を会員に広く周知するために、ホームページを活用し、随時、更新する。
- (3) LINE

新たな情報発信手段として開設したLINEの公式アカウントを活用して、本会の情報を発信していく。

5 大学祭への参加（10月26日(土)・27日(日)）

獣医部会、動物応用部会及び生命・環境科学部会は、地域住民及び準会員との交流を図るため、大学祭に参加し、次の催物を行う。

- ア 落花生の販売（千葉県支部）
- イ 支部による地場産品等の販売
- ウ 動物相談コーナーの設置
- エ 講演会等の開催（内容・講演者：未定）
- オ にこにこ星ふちのべ商店街による飲食物の販売
- カ 一般会員の待ち合わせ場所の開設
同窓会活動への参加、正会員への勧誘を呼び掛ける。

6 会員個人情報の管理と利用

会員の個人情報を適切に管理し、利用する。

- (1) 学園との「覚書」に基づき、会員名簿を随時更新する。
- (2) 一般社団法人麻布大学同窓会の保有する個人情報の取扱いに関する規程を遵守し、部会、支部及びブロック活動、同期会、研究室OB会等に会員情報を提供する。

7 部会活動

(1) 獣医部会

令和7年1月24日(金)～26日(日)に仙台国際センター(仙台市)で開催される第42回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和6年度）に参加する会員との親交を図るため、「交流会」を開催する。

(2) 動物応用部会

①学生の進路・就職支援活動、②卒業生及び大学・学生の繋がり形成、③大学と社会の強い繋がり形成を目的として、大学の協力を得て、「卒業生と在学生の集う会」を開催する。

令和6年11月（麻布大学8号館100周年記念ホール）（予定）

(3) 生命・環境科学部会

①就職活動及びキャリア形成、②部会会員の親睦及び新たな正会員の勧誘を目的として、大学の協力を得て、「就職業界研究会」を開催する。

8 準会員への支援

準会員の各種活動を活発にするため、支援する。

- (1) クラス会・県人会の開催、課外活動（自治会）及び大学祭（大学祭実行委員会）の開催に係る経費の一部を補助する。
- (2) 学内に飲料等の自動販売機、証明写真機及び複写機を設置し、市価より安価で提供する。
- (3) 卒業式において、卒業生に記念品を贈呈する。
- (4) 会員表彰規程に該当する者を表彰する。
- (5) 「卒業生と在学生の集う会」及び「就職業界研究会」を大学の協力を得て、開催し、就職を支援する。

9 福利厚生・表彰・慶弔事業

会員の福利厚生、表彰及び慶弔に関する事業を行う。

- (1) 現在の契約施設のフリーデンディング、レンブラントホテル東京町田及び東横イン横浜線淵野辺駅南口の3施設では引き続きホームページで広報する。今後も良質な契約施設を増やし、会員の福利厚生に役立てる。
- (2) 会員表彰規程に基づき会員の表彰を行う。
- (3) 慶弔規程に基づく弔慰金等、災害救助法が適用された市町村に居住する正会員の住居が罹災したときの見舞金（10,000円、支部経由）等を支給する。

10 会議、委員会等の開催

引き続き、オンライン会議を原則とする。やむを得ず対応できない場合は対面出席とする。

- (1) 理事会
 - 第1回理事会 令和6年5月（予定）
 - 第2回理事会 令和7年3月（予定）
- (2) 定時代議員会 令和6年6月（予定）
- (3) 担当理事会 必要に応じて開催
- (4) 委員会
 - ア 交流委員会 必要に応じて開催
 - イ 広報委員会 必要に応じて開催

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
IV 予備費支出	600,000	0	600,000
当期収支差額	△ 7,483,500	8,757,289	△ 16,240,789
前期繰越収支差額	11,584,981	11,584,981	0
次期繰越収支差額	4,101,481	20,342,270	△ 16,240,789

2 貸借対照表 (2024年 3月31日現在)

一般会計

(単位: 円)

科 目	令和5年度	令和4年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	456,154	343,866	112,288
普通預金	19,886,116	11,241,115	8,645,001
現金預金合計	20,342,270	11,584,981	8,757,289
(2) その他流動資産			
未収金	113,762	184,150	△70,388
前払金	73,920	0	73,920
貯蔵品	232,000	260,000	△28,000
その他流動資産合計	419,682	444,150	△24,468
流動資産合計	20,761,952	12,029,131	8,732,821
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
奨学金資産	12,937,078	21,607,711	△8,670,633
退職給付引当金資産	201,259	3,131,689	△2,930,430
同窓会基本金資産	26,468,501	26,468,218	283
運営資金積立金資産	3,728,538	3,728,502	36
特定資産合計	43,335,376	54,936,120	△11,600,744
(2) その他固定資産			
建物	188,208	206,748	△18,540
什器備品	171,034	303,428	△132,394
奨学金基金貸与金	0	18,901,300	△18,901,300
その他固定資産合計	359,242	19,411,476	△19,052,234
固定資産合計	43,694,618	74,347,596	△30,652,978
資産合計	64,456,570	86,376,727	△21,920,157
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,960,749	1,187,014	773,735
預り金	80,169	22,270	57,899
賞与引当金	187,000	193,000	△6,000
流動負債合計	2,227,918	1,402,284	825,634
2. 固定負債			
退職給付引当金	187,000	3,281,000	△3,094,000
固定負債合計	187,000	3,281,000	△3,094,000
負債合計	2,414,918	4,683,284	△2,268,366
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	62,041,652	81,693,443	△19,651,791
正味財産合計	(3,929,797)	(6,860,191)	△2,930,394
正味財産合計	62,041,652	81,693,443	△19,651,791
負債 及び 正味財産合計	64,456,570	86,376,727	△21,920,157

3 財務諸表に関する注記

「公益法人会計基準」を採用している

(1) 重要な会計方針

ア 固定資産の減価償却法の方法

定額法によっている。

イ 引当金の計上基準

- ・賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。
- ・退職給付引当金……職員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 特定資産の増減額とその残高

4 正味財産増減計算書

財務諸表に対する注記

(単位: 円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
奨学金資産	21,607,711	1,404,687	10,075,320	12,937,078
退職給付引当資産	3,131,689	200,010	3,130,440	201,259
同窓会基本金資産	16,000,000	0	0	16,000,000
	88,401	113	0	88,514
	10,000,000	0	0	10,000,000
	379,817	170	0	379,987
同窓会基本金資産計	26,468,218	283	0	26,468,501
運営資金積立資産	3,728,502	36	0	3,728,538
合 計	54,936,120	1,605,016	13,205,760	43,335,376

正味財産増減計算書 (2023年 4月1日から2024年 3月31日まで)

(単位: 円)

科 目	令和5年度	令和4年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①特定資産運用益			
特定資産運用益	516	504	12
特定資産運用益計	516	504	12
②受取会費・入会金			
正会員会費	6,778,000	5,646,000	1,132,000
準会員会費	1,390,500	1,253,000	137,500
入会金	17,550,000	15,900,000	1,650,000
受取会費・入会金計	25,718,500	22,799,000	2,919,500
③事業収益			
自販機収益金	3,325,248	3,405,507	△80,259
複写機収益金	58,355	81,935	△23,580
事業収益金計	3,383,603	3,487,442	△103,839
④卒業生個人情報管理経費補助金			
卒業生個人情報管理経費補助金	1,500,000	1,500,000	0
卒業生個人情報管理経費補助金計	1,500,000	1,500,000	0
⑤雑収益			
雑収益	5,134,724	12,000	5,122,724
受取利息	152	133	19
雑収益計	5,134,876	12,133	5,122,743
⑥受取寄付金			
寄付金	145,000	0	145,000
受取寄付金計	145,000	0	145,000
⑦奨学金基金返済金			
奨学金基金返済金	1,330,500	834,000	496,500
奨学金基金返済金計	1,330,500	834,000	496,500
経常収益計	37,212,995	28,633,079	8,579,916
(2) 経常費用			
①事業費			
全会員共通	4,662,545	4,587,170	75,375
正会員対象	3,431,496	2,641,903	789,593
準会員対象	2,771,900	3,203,700	△431,800
事業税	543,200	833,000	△289,800
事業費計	11,409,141	11,265,773	143,368
②管理費			
給与手当	4,791,298	4,953,899	△162,601
賞与引当金繰入	187,000	0	187,000
臨時雇賃金	2,930,800	2,285,400	645,400
退職給付引当金繰入	187,000	0	187,000
福利厚生費	520,014	489,000	31,014
会議費	2,234,510	3,394,344	△1,159,834
交際費(慶弔費等)	61,760	70,623	△8,863
コピーサービス消耗品費	4,863	40,607	△35,744
事務管理費	489,797	419,232	70,565
備品費	0	62,700	△62,700
印刷・消耗品費	2,597,758	642,667	1,955,091
通信運搬費	358,126	179,335	178,791
光熱水費	1,212,418	869,072	343,346
雑費(振込手数料等)	200,667	134,567	66,100
法人化経費	627,200	436,569	190,631
寄付金	28,901,300	0	28,901,300
公租公課	200	0	200
減価償却費	150,934	67,355	83,579
管理費計	45,455,645	14,045,370	31,410,275
経常費用計	56,864,786	25,311,143	31,553,643
評価損益等調整前当期経常増減額	△19,651,791	3,321,936	△22,973,727
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△19,651,791	3,321,936	△22,973,727
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
①基本財産評価益			
会計基準適用に伴う修正額	0	19,345,450	△19,345,450
基本財産評価益計	0	19,345,450	△19,345,450
経常外収益計	0	19,345,450	△19,345,450
(2) 経常外費用			
①基本財産評価損			
会計基準適用に伴う修正額	0	4,683,284	△4,683,284
基本財産評価損計	0	4,683,284	△4,683,284
経常外費用計	0	4,683,284	△4,683,284
当期経常外増減額	0	14,662,166	△14,662,166
税引前当期一般正味財産増減額	△19,651,791	17,984,102	△37,635,893
当期一般正味財産増減額	△19,651,791	17,984,102	△37,635,893
一般正味財産期首残高	81,693,443	63,709,341	17,984,102
一般正味財産期末残高	62,041,652	81,693,443	△19,651,791
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	62,041,652	81,693,443	△19,651,791

第2号議案 役員選任の件

本定時総会の終結をもって役員任期が満了するため、次の役員候補者について、役員選任を求めます。

【全員選任】

令和5年度 同窓会 年会費納入について

(人)

部会 支部	獣医	動物 応用	生命・ 環境科学	特別 会員	未記載	合計
北海道	60	4	4			68
青森県	19		2			21
岩手県	25	3	4			32
宮城県	22	1	1			24
秋田県	22	2	4			28
山形県	58					58
福島県	52	1	2			55
茨城県	64					64
栃木県	44	4	2			50
群馬県	75	3	4			82
埼玉県	54	1	2		2	59
千葉県	91	3	13			107
山梨県	51		1			52
東京都						0
神奈川県	153	1	3			157
横浜市	105	2	6	1		114
新潟県	63	7	7			77
富山県	27	1	4			32
石川県	51					51
福井県	16	1	1			18
長野県	93		10		1	104
岐阜県	36					36
静岡県	80	4	16			100
愛知県	55	2	1			58
三重県	45					45
滋賀県	7					7

部会 支部	獣医	動物 応用	生命・ 環境科学	特別 会員	未記載	合計
京都府	15					15
大阪府	53		3			56
兵庫県	98	4	1			103
奈良県	24		1			25
和歌山県	3					3
鳥取県	23	5	1			29
島根県	31	1	3			35
岡山県	36	2				38
広島県	78	3	7			88
山口県	26	2	2			30
徳島県	52					52
香川県	63					63
愛媛県	99		1			100
高知県	47	1				48
福岡県	57					57
佐賀県	18	1	1			20
長崎県	17					17
熊本県	51					51
大分県	27	2				29
宮崎県	45		1			46
鹿児島県	72					72
沖縄県	6					6
学園	29	11	14			54
支部合計	2,338	72	122	1	3	2,536
直納	149	73	124			346
総合計	2,487	145	246	1	3	2,882

※直納：本部直接納入

年会費納入をありがとうございました。

※過年度分の追加納入も承っております。お早めにご連絡をお願いいたします。



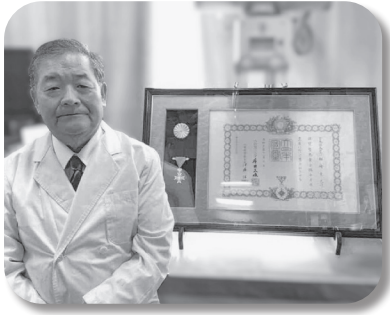
訃報 謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。

死亡年	月	氏名	卒業年	居住地	死亡年	月	氏名	卒業年	居住地	
令和4年	6月	桜井 弘武	V昭和30年卒	長野県	令和6年	2月	海野 隆至	V昭和52年卒	静岡県	
	10月	馬場 賢治	V平成2年卒	長野県				手塚 信也	V昭和52年卒	新潟県
令和5年	2月	村江 保介	V昭和42年卒	奈良県				山崎 輝城	V昭和46年卒	愛媛県
	3月	鈴木 良	V昭和31年卒	栃木県		3月	島田 敏之	V昭和52年卒	愛知県	
	6月	米田 進	V昭和30年卒	富山県				菅原 通正	V昭和31年卒	宮城県
		岩城 光夫	E平成4年卒	埼玉県		4月	岡澤 武夫	V昭和35年卒	新潟県	
	10月	山崎 義時	V昭和24年卒	富山県				堤 武徳	V昭和40年卒	福岡県
	11月	野澤 和司	V昭和41年卒	栃木県				白井 求	V昭和39年卒	香川県
令和6年		山崎 秀雄	V昭和46年卒	鳥取県		5月	今山 行夫	V昭和50年卒	新潟県	
	—	高橋 勝己	V昭和35年卒	徳島県		6月	井之川 勝一	V昭和38年卒	新潟県	
	1月	水野 裕	V昭和39年卒	徳島県			飯塚 武文	V昭和30年卒	東京都	
		井之上 正盛	V昭和43年卒	鹿児島県	7月	林 友美	V昭和45年卒	長野県		
		荒谷 孝一	V昭和42年卒	富山県			南 博文	V昭和35年卒	愛媛県	
	難波 博一	V昭和48年卒	岡山県	8月	長島 利治	V平成7年卒	千葉県			
	2月	齋尾 美香	H昭和45年卒	鳥取県						

(敬称略) V=獣医学科 H=衛生技術学科 E=環境保健学科



先生方おめでとうございます！



けんざき かつみ
釵崎 克己 先生

令和5年秋の叙勲
瑞宝双光章
(更生保護功労)

獣医師会(大阪府支部会員) 昭和47年卒業
十三動物病院 院長



たなか ひでかず
田中 秀和 先生

令和5年度
内閣総理大臣表彰
(家畜診療等技術
功労者表彰)

獣医師会(千葉県支部会員) 平成4年卒業
NOSAI千葉北部家畜診療所 所長



支部総会開催報告

開催報告
こちら



支部事務局
連絡先
こちら



麻布大学の卒業生は全国で活躍し、都道府県ごとに支部として大学支援活動を行っています。活動報告を行う支部総会は同窓生に会える貴重な機会でもあり、大学からの情報を得る重要な行事となっています。

令和6年度 支部総会開催状況

開催日	支部	開催地	出席者	開催日	支部	開催地	出席者
6月16日	愛媛県	松山市	—	7月21日	富山県	富山市	森田教授
6月21日	群馬県	渋川市	小倉理事長	7月21日	三重県	松阪市	福山会長
6月29日	千葉県	千葉市	恩田教授	7月25日	横浜市	横浜市	小倉理事長 村上副学長
6月30日	山形県	山形市	風間助教	7月28日	大阪府	大阪市	村上副学長
7月6日	佐賀県	佐賀市	川上学長	7月28日	長野県	松本市	小倉理事長 福山会長
7月7日	岐阜県	岐阜市	善本教授	8月18日	香川県	高松市	—
7月13日	茨城県	水戸市	小倉理事長	8月24日	山口県	山口市	塚本准教授
7月14日	徳島県	徳島市	川上学長	9月7日	北海道	札幌市	村上副学長
7月20日	新潟県	新潟市	川上学長	9月7日	秋田県	秋田市	三澤准教授
7月20日	福岡県	福岡市	田原口教授	9月7日	大分県	大分市	岡谷講師
7月20日	鹿児島県	鹿児島市	菊水教授				
7月21日	静岡県	静岡市	平 教授				

地区ブロック会議開催状況

開催日	ブロック	開催地	出席者
7月7日	近畿	大阪市	福山会長
8月3日	九州	長崎市	小倉理事長 福山会長
9月7日	四国	高知市	福山会長

各支部・ブロック会議の
開催報告はホームページから
ご覧になれます。



同窓会会報への 投稿を募集しています

- 掲載内容 : 同期会、叙勲や受賞など
- 文章 : 300字から500字程度
- 写真 : 1MB以上を希望
- 投稿方法 : メールまたは郵送
doso@azabu-u.ac.jp

掲載については広報委員会で決定します。
※郵送等により受理した生写真は、発行後返却
します。

よろしくおねがいたします



LINE公式アカウントを はじめました

ID @723meuhc

同窓会活動の近況や大学構内の
写真を配信しています
ぜひ登録をお願いします。



一般社団法人麻布大学同窓会 広報委員会
委員長：市原伸恒
委員：飯塚 修、井上真紀、小澤秋沙
黒田聡史、島津徳人、曾川一幸、
田原口智士、葉山 俊
印刷：明誠企画株式会社

